

防カビ剤
防藻剤配合

ASAHI PEN

ひび割れ、亀裂に強く防水性抜群

水性外かべ凹凸塗料

汚れがつきにくい高級弾性塗料

ツヤあり
凹凸仕上げ

モルタル壁・
ブロックベイ・
リシン壁や木部に

標準塗り面積(1回塗り)

2~3㎡

タタミ
1~2枚分

3L

専用ローラー(凹凸用塗料専用ローラーバケ)で
塗装すると凹凸状に仕上がります。

乾燥時間
夏期/2~3時間
冬期/6~8時間

塗り重ね時間の目安
夏期/4時間以上
冬期/12時間以上



無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

ASAHI PEN CORP.

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

●この容器は、水を加えて
かき混ぜられるよう、多
少大きめにつくってあり
ます。中身の塗料は正
確な量目入っています。
●表示してある色は、中身
の塗料と多少異なること
があります。

●表示してある色、ツヤおよび容器の中身の塗料の色は、乾いてか
らの塗料の色と多少異なる場合があります。

商品名 水性外かべ凹凸塗料 品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル)、顔料、防カビ剤、防藻剤、水

特長

- 専用のローラーバケで容易に、ツヤありの風格ある、美しい立体凹凸模様仕上げができます。
- 防カビ剤・防藻剤の配合により、長期間カビ・藻(モ)・コケの発生を防ぎます。
- 塗膜は弾力性に優れており、コンクリートやモルタルに生じるひび割れやき裂に強い塗料です。
- 汚れがつきにくく、防水性や耐候性に優れ、長期間建物の美観を保ちます。

用途

- 屋内外のコンクリート・モルタル・ブロック・スレート・レンガ・しっくい・木部などの壁・天井・へいなど。
- 浴室・台所には適しません。また、絶えず水がかかったり水につかるところや、いつも湿っているところ、また床面には適しません。

塗装方法

- はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●ひび割れやすきまなどは、あらかじめコーキング材やシーリング材などで補修しておきます。
●塗る面の汚れ・ホコリ・カビ・藻(モ)などを取り、カビはカビとり剤で、油分・ワックスはペイント用洗剤で拭いてよく落とします。
- 塗料がついては困る場所は、あらかじめマスキングテープなどでおおっておきます。
- 必ず、アサヒペン油性シーラー、またはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りします。(吸い込みのある時は2回塗りします)また、右の下地処理の注意に該当する場合は注意事項に従って処理します。
- フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
●必要量をペイントトレイに移します。うすめる必要はありません。そのまま塗ります。
- コーナーや塗りにくいところは、先にすじかいバケやミニコバケで塗ります。広い面積の部分は凹凸用塗料専用ローラー(マスキングローラー)に、塗料を均一にたっぷり含ませて、まんべんなく塗り広げます。平滑な面は塗膜が不均一になりやすいので、ローラーの動きを充分に調整しながら塗ります。
●次に、塗料を均一に少量含ませ、上から下へ(一定方向に)ローラーを転がして模様づけをします。
●よりよく仕上げたい場合は、1回目乾いてから万能ローラーバケ(中毛)で2回目を塗ります。(このときは水で10~15%うすめ、よくかき混ぜて均一にしてから塗ります。)
- マスキングテープは、塗料が乾かないうちにがします。乾いてしまったときは、項目をカッターナイフで切ってはがします。
●塗装後一日以上、充分に乾燥させます。不十分な場合、水がかかったり、雨や結露によって塗膜が流れたり、ハガシやシミの原因になることがあります。
※表記の乾燥時間は、半硬化(指で軽くこすって跡がつかない状態)の時間です。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水で洗って下さい。

保管上の注意

- ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
- ②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
- ③残った塗料はしっかりとフタを密に保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

取扱い上の注意

1. 表示の用途以外に使用しないで下さい。
2. 体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
3. 目に入ったり皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱して下さい。皮膚に付着したまま放置すると、炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。
4. 塗装中、乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。
5. 塗料がついても支障がない服装で作業をして下さい。
6. 塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。
7. 塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。
8. あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・密着性などを確かめてから塗って下さい。特殊なコーキング材・シーリング材の中には密着しないものがあります。
9. コンクリート・モルタル・しっくいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなる場合があります。
10. 塗り重ねるときは、夏期4時間以上、冬期は12時間以上乾かしてから塗って下さい。
11. 塗ったときの凹凸模様は、塗布量とローラーの押さえ具合で多少異なります。
12. 塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。
13. ペイントスプレーヤーでは塗装できません。
14. 容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。
15. やむをえず塗料を捨てるときは、水性・油性兼用塗料固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
16. 容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意

- ①つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。
- ②旧塗膜を触って粉が手につく場合は、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。
- ③カビがはえている所は、水を含みながらタワシ等で取り除いてから塗って下さい。
- ④藻(モ)、コケがはえている所は、水をかけながらタワシ等で取り除いてから塗って下さい。
- ⑤くぎの頭など鉄部に直接塗る場合は、充分にサビを落とし、サビ止め塗料を下塗りして下さい。
- ⑥新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1か月以上経ってから行い、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。

危険



- 臓器の障害
- 水生生物に毒性

救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 ASAHI PEN 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製
01-1605